



議会だより

149号 令和4年7月20日発行



- 第2回定例会報告 … 2
- 委員会レポート … 5
- 特集 下水道事業 … 9
- 一般質問は12人が登壇 … 10

葉山町議会 検索



写真：スポ GOMI オーシャンに参加する子ども達

※表紙説明は裏面にあります。

第2回 定例会

6月2日から16日まで開催し、補正予算や条例改正、請願等の審議を行いました。

令和4年度一般会計補正予算(第1号)

(3億3475万円)

歳入

主な事業

民生費国庫補助金 (883万円)

民間保育所及び民間放課後児童クラブ(学童クラブ)に対する保育士等の処遇改善をするための臨時特例交付金等

地方創生臨時交付金

(2億981万円)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取り組みや、地域経済・住民生活の支援、物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援に対して交付

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業補助金 (2848万円)

低所得の子育て世帯生活支援のための給付金と、その事務費に対して交付

コミュニティ助成事業助成金 (260万円)



屋外喫煙所イメージ

宝くじの社会貢献広報事業として交付され、長柄町内会(エアコン)と木の下町内会(パソコン他)の備品整備を補助

歳出

庁舎維持管理事業 (77万円)

役場庁舎敷地内に特定屋外喫煙場所を設置

主な質疑

問 場所や形を決めた経緯は。

答 受動喫煙に配慮し、中学生の登下校がある公道から離れていて、人の往来が少ない場所を選んだ。密閉型では空気清浄機やエアコンが必要となり、施設管理も難しいので、開放型を選択した。

住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業 (450万円)

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和3年度の未受給世帯や、令和4年1月以降の家計急変世帯に、一世帯あたり10万円を支給

放課後児童健全育成事業 (107万円)

放課後児童支援員等への賃上げによる処遇改善事業を実施している民間放課後児童クラブ(学童クラブ)に対して、放課後児童支援員等処遇改善補助金を交付

教育・保育給付支給事業 (749万円)

保育士等への賃上げによる処遇改善事業を実施している民間保育所等に対して保育士等処遇改善補助金を交付

主な質疑

問 民間の学童の指導員には

加算がつくのに、町の児童館の職員にはつかないのか。

答 児童館の職員は会計年度任用職員という扱いであり、

条例または規則の中で給与等を規定して支払っている。児童館の職務と学童保育の職務は、兼務しているという考え

方だ。

問 町立保育園の保育士については、加算してもよいと国は言っているが。

答 町の保育士には、行政職給料表に基づいて給与を支払っている。初任給の設定も、専門職として位置づけている。今回のような時限措置については、直接、処遇に反映させないことにした。県内の他自治体でも、正規職員に対して対応したところはないと理解している。

問 国はそもそも、保育士の

処遇改善という観点から、交付税措置等を行っているのではないかと。

答 コロナ対策で負担がかかっているという面では、ごみ収集など、他の業務でも同じだ。

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業 (2806万円)

新型コロナウイルス対策で、低所得の子育て世帯への支給とその経費。対象児童一人あたり5万円、550人の見込み

感染症対策事業 (38万円)

令和4年2月に開始した、新型コロナウイルス感染症の

自宅療養者等に対する食料配達支援事業の継続

主な質疑

問 県の制度を補完するものだが、コロナ陽性となった対象者には、もれなく周知されているか。

答 県と協定を結び、町のホームページや広報を通じて周知を図っている。

問 食材の調達と配達の方法は。

答 町が町内の事業者から買入れ、職員がそのお宅に直接届けている。

新型コロナウイルスワクチン

予防接種事業(5565万円)

委託料や諸経費等、ワクチン4回目追加接種に係る経費の増額

電子商品券交付事業 (2億2505万円)

アフターコロナにおける町内の経済振興及び家計支援を目的として交付、一人につき6千円

主な質疑

問 前回より千円増えているが。

答 物価高騰による影響を考慮した。

問 前回と同じ業者、同じシステムか。

答 その通りだ。研究を進めて、使い勝手のよいものにしていく。データはもう一回抽出し直す。費用がかかるので、今後は観光協会にプラットフォームを作るなど、やり方を検討していく。

問 登録店の目標が300店だが、前回は、建設業にはほとんど使われていない。現場で働く業者にも、あまり情報が届いていない。もっと本気で周知してほしいが。

答 商工会の中でも工業系があるので、説明を十分にしている。機会を捉えて、説明会も考えている。

問 なぜ10月の送付なのか。もっと早くならないのか。

答 8月の住民基本台帳で確認してから準備するが、データの抽出に時間がかかるので、最遅でも10月の送付になる。

問 前回、飲食店や小売店、スーパーやコンビニ等以外の「その他」の利用実績とは。

答 美容や美容、ネイルサロン、エステ、調剤薬局、スポーツ、レジャー、ペット、インテリア、車、清掃業等だ。

ラッグストアのような大型店に約47%の利用が集まった。町内の景気活性化の面で、どれほどの効果があったのか。

答 普通は7〜8割が大規模店舗に流れるが、町では50%ほどが町内業者に利用されたことを評価している。



前回の電子商品券

観光施設維持管理事業

(71万円)

真名瀬駐車場管理機器の入れ替え

主な質疑

問 電子マネーは、一般的に使えるか。

答 なるべく使えるように協議中だ。



真名瀬駐車場

人権教育推進事業

(12万円)

県からの委託を受け「いのち」を大切にする心をはぐくむ教育を推進

主な質疑

問 県からの委託の経緯は。国や県の考えとは別に、町独自の考え方を持たすべきだと思うが。

答 県から町に依頼があり、今回は一色小学校を選んだ。県の取り組みのきっかけになったのは、津久井やまゆり園の事件だ。文科省の学習指導要領を根幹にして、葉山なりの教育をしていく。

問 今後は、他校へも広めていくのか。

答 もともと、各市町村が個別に取り組んできた課題だ。一色小学校での成果は町全体に示すのが当然なので、今後はオンラインを含めた普及啓発を図る。

国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症感染者の傷病手当金支給対象期間を、令和4年9月30日まで延長する

町立の障害者支援施設に関する条例を廃止する条例

町が設置する施設「葉山はばたき」の民設民営移行に伴い、条例を廃止

主な質疑

問 今の施設と、移転先となる新たな施設の床面積は。

答 379㎡と1262㎡だ。現行の施設が手狭なので、定員は現在のままとする。

問 これまでの建物はどうなるのか。

答 まだ白紙だが、町の公共施設について議論する中で考えていく。

問 今後、町からの補助は。

答 町の指定管理は、任期の半分のところまで終わることになる。利用者の方が円滑に新しい施設を利用できるように、財政的な支援も含め、協議していく。



「葉山はばたき」移転先

工事請負契約の締結

(1億1641万円)

葉山中学校のトイレ改修工事の契約締結

主な質疑

問 トイレの補修はこれで全て完了か。

答 特別教室棟の1階、2階、3階と管理棟の外にあるトイレで、4カ所残っている。

問 下水の処理は合併浄化槽だと思いが、そちらは補修しなくても大丈夫か。

答 特に臭気等は出ていないので、適正に機能している。

問 将来的に、公共下水道につなぐ見通しは。

答 可能性はある。

問 クリーンセンターは公共下水道への管渠をつないだが、葉山中学校はつながないのか。

答 今回は、生徒の快適さを第一に考えた。

問 長柄小学校は、浄化槽を直す必要があると言われている。いつ公共下水道につなぐのか、計画は。

答 年次計画はない。今後、優先順位をつけて順次整備していく。

問 男子トイレには小便秘器より、個室の洋式トイレを設置

した方がよいのではないかと。
答 生徒数に応じて、必要数が設定されていると思う。



改修後のイメージ

財産の取得

●高規格救急自動車

(2123万円)

●資器材一式(1296万円)

主な質疑

問 デイゼル車もあるが、毎回ガソリン車を選ぶ根拠は。
答 今回もガソリン車だが、クリーンデイゼル車であれば、出力が高いこともあり、特にいとわない。

問 電気自動車の購入は検討しなかったのか。
答 バッテリーが重いので検討しなかったが、技術革新もあるため、今後は研究課題とする。

問 古い救急車の資器材はどうするの。
答 基本的には全て交換するが、使えるものは予備として

残す。

問 今、予備車として3台目が置いてあるが、それはどうなるのか。
答 これまでの2号車を予備車にして、廃車にする。



更新予定の救急車

令和4年度下水道事業会計補正予算(第1号)

●下水道整備推進事業他

(2627万円)

●DB(デザインビルド)方式浄化センター・中継ポンプ場整備事業と包括的民間委託等 令和5～8年度分

(26億8290万円)

※設計施工一括発注方式

主な質疑

問 大きな金額なのに、なぜ当初予算で出せなかったのか。
答 施設維持管理の包括的民間委託の費用算出は、決算額

を算定基礎にしたかった。

問 浄化センター等の事業と*コンセッション事業は別問題か。
 ※公共施設の運営権を民間に託す事業方式

答 そうだ。コンセッションに限らず可能性を検討していく。

問 DBで経費は安くなるというが、参加企業が限られてしまうのではないか。
答 業者がJV(企業共同体)を組んで参加できるので、窓口は広がっていると考える。

問 4年間で4600万円の

コスト縮減とあるが、そのうちの3200万円は人件費か。
答 下水道課の職員が一人減らせる分として算出した。

問 この方式で、リスクはないのか。
答 請け負う業者が自分たちで設計・設置・維持管理できるので、他の業者が入るよりリスクは少ないと考える。

問 使用料収入は3団地を接続すれば増えるが、その後、減っていく予測なのはなぜか。
答 人口減少を想定しているためだ。

問 これまででは一般会計から都市計画税の金額以上に繰り

入れしていたが、今後は都市

計画税の範囲で収まるのか。
答 そうしたいが、そのためには使用料改定も必要だ。

問 費用の27億円弱は、新たに生じたわけではなく、長期計画のうちか。
答 その通り、10年概成計画のうちだ。

問 下水道審議会には諮ったのか。
答 大きな変更ではないので、審議会には開いていない。令和5年度からは、使用料の改定やコンセッションも含め、開催していく予定だ。

問 外部の3人の選び方は。
答 大学教授1人、下水道事業団や下水道協会の職員から2人の予定だ。

問 金額の計算が合わないが。
答 町職員には報酬は発生しない。大学教授や医師、弁護士等の報酬は条例で2万3千円とすることができるとある。

問 特定の企業に近い人物が選ばれ、公平性に欠けるようなことはないか。
答 事業団や協会には、地方自治体からの出向者もいるので、そういう方をお願いしたい。

問 選定委員会と下水道審議会の関係は。
答 選定委員会はプロポーザルの評価のみを行うので、全くの別物だ。委員会から審議会への報告は必要ない。



葉山浄化センター

附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

下水道事業公募型プロポー

委員会レポート

各委員会では、それぞれ課題やテーマを掲げ調査・研究にも取り組んでいます。



まちづくり条例（前文）

葉山町は、古くから碧く美しい海と緑豊かな山々に囲まれ、気候は温暖で風光明媚な素晴らしい自然環境に抱かれている。明治の中頃から快適な保養地として世に紹介されて以来、町民はその文化の香りや歴史の面影を数多く残しながら自然、生活及び歴史的文化的環境の確保を図りつつ住宅と観光の町を形成してきた。これらの環境は、将来にわたり住民自らが守るべき固有の財産である。これらの財産がもたらす恵みを全ての町民が受けることができるよう 21 世紀初頭の町の将来像である「海とみどりにひろがる交流 文化のまち 葉山」の構想に向かって、全ての者が町の環境保全と創造に貢献できるよう努め、潤いと活力を実感できるまちをつくるため、この条例を制定する。

委員長 石岡実成

所管事務調査
まちづくり条例について
都市計画課職員が同席し、勉強会を開催しました。
今回は、2017年10月に任意団体「葉山町まちづくり勉強会」が作成した「まちづくり条例改正等の提案について」に記載されている改正を睨んだ提案事項をたたき台にして、順を追って担当課の見解を伺い、意見交換をしました。検討課題も多く、引き続き作業を進めていきます。

総務建設

教育民生

教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2023年度政府予算についての請願書

小学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられることが決まったが、今後は計画通り引き下げられることが大切である。少人数学級の必要性は中学校においても変わりはないことから、実施を進めていくことが必要である。そして、子ども達をとりま

く背景が多様化する中で、学校に求められる役割は年々拡大している。また、近年では感染症対策を講じながらの学習機会の保障、GIGAスクール構想等への対応が学校に求められている中、一人ひとりの子どもに丁寧に対応するため2023年度政府予算編成において国に対し意見書の提出を求めているものです。

審査結果

委員からは「豊かな子ども達の学びを保障する条件整備はとても大切なこと」「世界的に見ても日本の教育にかける財政は少ない。地方自治体に財政を任せるとはなく、次世代を担う子ども達も教育に国がもっと力を入れて欲しい。何らかの形で国負担2分の1復元を望む」「日本は資源がないので、人へ投資する以外ない。これからの時代、世界と競争していくには教育に力点をおくべき」「請願について賛成するが『国庫負担制度の国負担2分の1復元』というところについては、2006年から16年経過している中で形骸化している感がある。教職員の給与費に当てられる義務教育費国庫負担制

度にこだわらず、地方自治体の裁量・オリジナリティを發揮できる部分に国庫補助を求めると、今後議論していきたい」との意見が出され、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出することとなりました。

委員長 荒井直彦



教室内の風景

議会広報

議会改革

編集業務の外部委託の検討

これまで他自治体の状況や業者から見積りを取るなど情報収集を行い、可能性を検討してきました。外部委託の

委員会視察報告

視察の概要並びに委員所感、葉山町議会ホームページをご覧ください。



教育民生

5月10日～11日

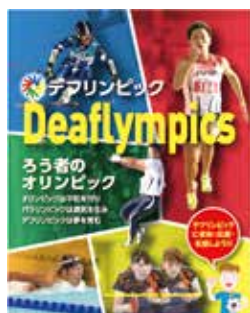
1 京都府亀岡市

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言プロジェクト」

亀岡市では2004年に保津川下りの2人の船頭によるごみの清掃活動が始まり2007年、保津川保全活動に取り組むNPO法人プロジェクト保津川が誕生し、賛同した各団体、行政によって大きな流れができて現在に至っています。今回の視察で得た知見を、今後の葉山の取り組みにも活かしたいと思えます。

史が古いこの大会を「デフリンピック2025」日本招致に向けて現在、取り組んでいるとお話を伺いました。このような国際総合大会が日本で開催され、聴覚障害者や手話への理解が深まればと思います。

なお、全国手話研修センターの理事長は、葉山町在住の黒崎信幸氏（逗葉ろうあ協会会長）です。



デフリンピック

3 大阪市

「子ども本の森中之島」子どもたちに多様な本を手にとってもらい、創造力や好奇心を育ませる文化施設」

大阪出身の世界的建築家安藤忠雄先生より、こどものために、本や芸術文化を通じて、豊かな想像力を養ってもらおう施設を活用してほしいと中之

場合、事務局が対応窓口となるため、現状の人員体制では対応が困難なことや、1回あたりの外注費用が150万円程度かかることと予測されることから、コスト的にも早期に実現することは困難であることが示されてきました。今回は他町村の対応状況について委員より報告があり、調べた範囲において町村では外注を実施している自治体は見当たらないことから、編集の外注については見送ることとしました。

直ぐに実施できる内容について早速取り入れることとしました。149号から一般質問写真のキャプションについては作成者の自由設定とすること及び、議会日より発行に合わせ、内容案内の動画配信を予定しています。

委員長 飯山直樹

議会運営

地球温暖化防止対策

はやま気候非常事態宣言に基づき、5月1日から10月31日までの間、クールビズを毎年行うことに決定しました。

コロナ感染防止対策

令和4年第2回定例会では、神奈川県まん延防止等重点措置発令前の状態に戻すことになりました。

一般傍聴は本会議11人、委員会4人とし、委員外議員および出席職員の入室制限はしないこととしました。

議員懇談会等は委員会室で開催し、中継が可能となりました。

議会改革

議会基本条例の評価・検証



那須町議会議員来庁

5月23日に視察した栃木県那須塩原市議会の取り組みを参考に葉山町議会に適した方法で行うことにしました。

視察受け入れ

5月19日、那須町議会からの視察を受けました。議会改革について、お互いに意見交換を行いました。那須町とは友好都市締結をしており、今後も交流を深めていきたいとの想いを共有しました。

委員長 金崎ひさ

2 京都市

「全国手話研修センター」

ここから年間350件～400件の基本となる手話が生まれ、全国に発信されています。2022年は、ブラジルのカシアスドスルで聴覚障害者の大会「デフリンピック」の第24回夏季大会が開催されたこと、パラリンピックよりも歴

史が古いこの大会を「デフリンピック2025」日本招致に向けて現在、取り組んでいるとお話を伺いました。このような国際総合大会が日本で開催され、聴覚障害者や手話への理解が深まればと思います。

なお、全国手話研修センターの理事長は、葉山町在住の黒崎信幸氏（逗葉ろうあ協会会長）です。

大阪出身の世界的建築家安藤忠雄先生より、こどものために、本や芸術文化を通じて、豊かな想像力を養ってもらおう施設を活用してほしいと中之

場合、事務局が対応窓口となるため、現状の人員体制では対応が困難なことや、1回あたりの外注費用が150万円程度かかることと予測されることから、コスト的にも早期に実現することは困難であることが示されてきました。今回は他町村の対応状況について委員より報告があり、調べた範囲において町村では外注を実施している自治体は見当たらないことから、編集の外注については見送ることとしました。

直ぐに実施できる内容について早速取り入れることとしました。149号から一般質問写真のキャプションについては作成者の自由設定とすること及び、議会日より発行に合わせ、内容案内の動画配信を予定しています。

委員長 飯山直樹

地球温暖化防止対策

はやま気候非常事態宣言に基づき、5月1日から10月31日までの間、クールビズを毎年行うことに決定しました。

コロナ感染防止対策

令和4年第2回定例会では、神奈川県まん延防止等重点措置発令前の状態に戻すことになりました。

一般傍聴は本会議11人、委員会4人とし、委員外議員および出席職員の入室制限はしないこととしました。

議員懇談会等は委員会室で開催し、中継が可能となりました。

議会改革

議会基本条例の評価・検証

読んでいただける広報紙を目指して

読んでいただける広報紙を目指して

読んでいただける広報紙を目指して

島公園内にご自身の設計による建物を寄贈され、2020年7月に文化施設として開業しています。諸条件の調整が可能であれば、葉山町にも必要な価値ある文化施設だと思えます。

委員長 荒井直彦



こども本の森中之島にて

議会広報

5月16日～17日

1 岡山県久米郡美咲町

議会広報の編集



みさきタウンテレビの取材を受ける委員長

美咲町は町村議会広報コンクールでこれまでに3回受賞しており、またメディアミックスにも取り組んでいます。委員は、意欲のある者を選出しているとのこと。議会だより作成に当たっては、特に次のようなことに気を付けて作成していました。

- ・見やすく、分かりやすく、簡潔な文章
- ・行政用語や難しい熟語などは使わない
- ・写真をたくさん使う
- ・空間を取り、見て疲れない紙面
- ・内容が分かる見出し
- ・興味がわくキャプション
- ・町民参加ページ

動画配信

地元のケーブルテレビ局と連携しており、会議だけでなく、視察や意見交換会の様子など、さまざまな場面で動画撮影を行い、YouTubeで配信しています。

動画の原稿は委員会で作成していますが、動画の撮影・編集やナレーションは「みさきタウンテレビ」でプロのスタッフが行っているとのこと、極めて質の高い動画となっていました。

2 岡山県津山市

議会広報の編集

住民に議会だよりを読んでもらうためにクイズを掲載し、正解者の中から抽選で図書カードなどをプレゼント。議会だよりの名称を「みんちやい」とすることや、表紙写真を市内学校の写真部に提供してもらうなど、親しみ易くするためのアイデアを積極的に取り入れているとのこと。

動画配信

「市議会スタジオ」を運用しています。内容は委員会が企画し、動画編集は事務局スタッフが手持ちの機材で予算をかけずに行っており、年間12本の動画配信を目標とし、多くの議員が偏りなく出演できるように気を配って取り組んでいるとのこと。



津山市にて

議会運営

委員長 飯山直樹

また、ギカイラジオ、議会日程のお知らせ、お便り紹介動画をレギュラー配信することで、配信が滞ることがないようにすることや、短い動画にすることの他、動画への説明スライド、写真、字幕の挿入などを特に意識して編集することがポイントとの説明を受けました。

5月23日～24日

1 群馬県桐生市議会

議会改革度調査では令和元年に全国第4位にランクインしています。投票率の大幅な落ち込みを契機に「開かれた議会」を合言葉に議会改革に取り組んだそうです。議会モニター制度の導入など新たな刺激をたくさん受け取りました。

2 栃木県那須塩原市議会

議会基本条例の評価・検証・見直しについては、那須塩原市の方式を取り入れる準備に入りました。

3 神奈川県開成町議会

通年議会について学びました。平成21年から導入して

り、現在では「通年の会期制」に移行していました。メリツトとされていた事項と、現在の葉山町で行われている方式との差異の検討をし、今後の結論に結びつけたいと思っています。

葉山町議会運営委員会であり組んでいる議会改革の参考にするための重要な視察でした。36項目の内、結論を出していない8項目の改革に取り組む手立てを学びました。コロナ禍の影響により、当委員会メンバーでの視察は初めてのものでした。委員それぞれがこの視察を通し、得たものは大きく、今後の議会のあるべき姿を目指して、話し合いを続けて参ります。

委員長 金崎ひさ



那須塩原市議会のバックボードを背に

第2回定例会 表決結果

全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第24号	専決処分の承認について（葉山町税条例の一部を改正する条例）	承認	—
議案第25号	令和4年度葉山町一般会計補正予算（第1号）	可決	P2
議案第26号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	P3
議案第27号	葉山町立の障害者支援施設に関する条例を廃止する条例	可決	P3
議案第28号	工事請負契約の締結について（葉山中学校トイレ改修工事）	可決	P3
議案第29号	財産の取得について（高規格救急自動車1台）	可決	P4
議案第30号	財産の取得について（高規格救急自動車用資器材一式）	可決	P4
議案第31号	人権擁護委員の推薦について	可決	—
議案第32号	人権擁護委員の推薦について	可決	—
議案第33号	令和4年度葉山町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	P4
議案第34号	葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決	P4
議案議案第4-3号	教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書	可決	P8
請願第4-1号	教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元をはかるための2023年度政府予算についての請願書	採択	P5

意見書を提出しました

紙面の都合上要約しています



と。の1に復元すること。国負担割合を2分の1に復元すること。義務教育費国庫負担制度を堅持し、上をはかるため、等と水準の維持向3 教育の機会均



2 改正義務標準法の計画通り、小学校における学級編制標準の引き下げを着実に実施すること。

1 子どもたちの教育環境改善のために、小学校同様、35人以下学級を早急に実施すること。

よって2023年度政府予算編成において次の事項を実現することを強く要望する。

今後はこれまでの加配定数を減らすことなく、計画通り着実に学級編制標準が引き下げられることと、中学校においても少人数学級実施を進めていくことが必要である。

改正義務標準法が成立し、小学校の学級編制標準が段階的に35人に引き下げられることが決定した。

教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国負担2分の1復元を求める意見書

下水道事業

背景

下水道事業では今後、大型合併浄化槽区域（3団地）を公共下水道へ取り込むことから、浄化センターと中継ポンプ場の能力を強化する必要があります。

また施設の処理状況をリアルタイムで確認し、自動

制御等により機器の監視・遠隔操作を行う中央監視設備については、平成10年の運用から24年が経過し耐用年数を大幅に経過しているため、早急な改築が必要となっております。

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
●浄化センター等増設DB+包括事業								
導入可能性調査								合計： 2,682,900千円
事業者選定								
浄化センター機械電気増設								継続費：総額 1,740,200千円
中継ポンプ場ポンプ増設								
中央監視設備更新								債務負担行為：総額 942,700千円
包括的民間委託								

下水道事業のスケジュール

事業の概要

■設計施行・増設工事

第4系列の機械電気設備及び中継ポンプ場の汚水ポンプ増設工事を、設計施工一括発注とします。併せて中央監視設備の改築も行い、建設コストの縮減と維持管理の効率化を目指すものです。当計画により約8,707万円のコストが縮減できる可能性が示されています。

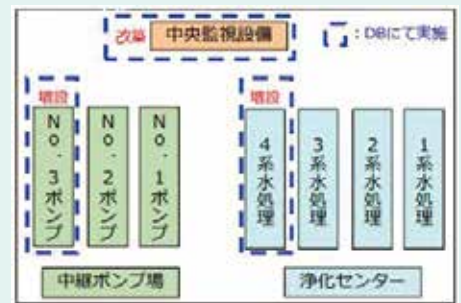


浄化センター第4系列の機械電気設備増設

■施設運用

これまで町が単年度で契約をしていた運転や保守・点検管理、修繕工事等を、包括的民間委託に移行

し、業務受託会社と複数年契約を締結して、業務の効率化とコスト縮減を図るものです。当計画では令和5年度から4年間のコストが約4,600万円縮減できる可能性が示されています。



中央監視設備イメージ

補足事項

■下水道使用料

令和3年度から10年間の下水道事業経営戦略が示され、下水道使用料は現行の133円/m³から令和8年度には150円/m³に引き上げる計画です。

■補正予算

事業遂行に必要な、増設・更新事業の継続費総額17億4,020万円と、包括的民間委託に要する費用として9億4,270万円の債務負担行為が全会一致で決されました（詳しくは4ページを参照ください）。

また以上の増設工事等には影響ありませんが、今後の下水道事業の運営等に関して次の2つの事業についても検討が開始されます。

■広域化・共同化事業

逗子市との下水道事業に関する共同化について検討します。まず当町下水道施設に逗子市の下水を受け入れる可能性について検討し、可能であれば、施設増設の基本設計等を進めるものです。

■コンセッション事業

増設工事完了後の施設維持管理等の官民連携（コンセッション方式）について検討します。官民連携により技術者の人材不足問題の解決や、民間ノウハウによるさらなるコスト削減効果が期待できます。

今回は、12人の議員がそれぞれの想いで臨みました!!

町政を問う



一般質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会 検索



一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。



自宅で生ごみ処理を

環境部長 真名瀬での生ごみ分別収集実証実験と山口実証実験との違いは何か。

環境部長 35世帯に絞り、戸別訪問し意見交換をする。

問 1億円の削減との表記を削除した理由は。

環境部長 人件費等の経費が高むことも勘案し削除した。

問 生ごみ収集が週2回になる可能性は。

環境部長 実証実験の意見を伺い、検討する。

問 生分解性の袋を使用し、破袋機は不要にすべきと思うが。

町長 排出事例を見ると、ビニール袋をゼロにすることは難しい。大きな課題である。

環境部長 生ごみの自家処理を推進する考えは。

環境部長 減量化に繋がると分析しており、

問 もう少し手軽な処理機を加えつつ、推進する。

問 逗子市の生ごみ量は1728t、人口が約半分の葉山町が1772tの見込みだが。

環境部長 当初は3500t/年、日量10t規模が妥当との話し合いがあった。

問 ごみ量を10tに合わせるのではなく、規模を見直すべきだ。日量5tになれば密閉式処理機もあり、臭いの心配がなくなる。過大な施設を造って、将来は事業系の生ごみも処理するつもりなのか。

環境部長 事業系を入れる考えはない。

問 町民説明会の開催予定は。

環境部長 まだまだ開催できる状況ではない。

問 貝殻など生ごみとするかどうかの決定は。

環境部長 実証実験で意見を聞きたい。

問 体験のため、生ごみ施設稼働の前に町職員に堆肥化の実験をさせるべきでは。

環境部長 生ごみ処理を直営にしたいという希望はあるが、検討したい。

金崎ひさ

環境部長

生ごみ 自家処理の推進は 減量化に繋がると分析している



電柱移設による狭い道の解消を

都市経済部長 町道にある電柱は、何本あるか。

都市経済部長 1400本程度ある。

問 電柱所有事業者と使用事業者を把握しているか。

都市経済部長 東電の所有とNTTの所有があり、共架しているとは限らないが、所有事業者が把握している。

問 電柱1本のおおよその移設費用は。

都市経済部長 90万円から100万円の試算だ。

問 下山口上山口線の電柱を、民地や電柱の間隔を空けて移設し狭い道を解消できないか。

都市経済部長 事業者の責任において処理するのが基本姿勢で町が説得に伺うこともある。

問 カーブミラーの設置場所や角度・高さ・清掃などの運用基準は。

都市経済部長 歩行者が優先で、カーブミラーを頼らないでほしい。高さは2メートルがぶつからない高さ。5年に1度メンテナンスをし、パトロールで気が付いたところは清掃している。

問 消防ポンプ車が走行中に道路に越境している草木に当たったり、電線にかかっている草木で断線の可能性もあり危険だ。把握しているのか。

消防長 道路情報は、都市経済部から得ている。草木で気が付いたところは、道路河川課へ情報提供している。

都市経済部長 道路河川課で対応する場合もあるが、まずは土地所有者に働きかけをする。

問 土砂崩れをしそうな箇所が通学路にあり、一本道の道路で土砂崩れが起きた場合には孤立も考えられる。対策は。

教育長 至急相談したい。

町長 改めて担当と話をする。

伊藤航平

都市経済部長

電柱を移設し 狭い道の解消を

荒井直彦



町制100周年に向けて
動画を作成しては

町長

可能であれば、作成していく

友好都市

問 御用邸所在地友好都市協定を結んで、今後どのような方向性で進めていくのか。

政策財政部長 各施策分野で連携・協力できるものは、具体的に進めていく。

問 下田市制施行50周年記念動画を下田市のホームページから見る事ができる。庁舎1階で、今の葉山町だけの動画だけではなく、季節ごとに那須町や下田市も放映してはどうか。

政策財政部長 友好が深まる中、いろいろな見地から検討していく。

問 町制100周年に向けて動画を作成してはどうか。

町長 100周年を振り返るという視点で、書物、



下田市ホームページより
下田市制施行50周年動画

写真、動画について、町民の方にもたくさん力を借りたい。動画に収めることも可能であれば作成していく。

キッチンカー

問 南郷上ノ山公園で実証実験を行ったキッチンカー導入の成果は。

教育部長 5月14日から6月12日までの土日に開催し11者の出店があり、来場者からは好評だった。

問 今後の課題、課題と取り組みは。

教育部長 町としてキッチンカー自体をどのように広げていくか、いろいろな場所、施設を管理しているので教育委員会だけでなく調整が必要となる。

町長 別の場所でも提案をいただいている。南郷上ノ山公園での結果を共有し、産業振興として大事な取り組みだが、場所の管理者側の課題が大きいことがわかった。

中村和雄



生ごみ資源化事業は
詰めが甘いのでは

町長

町民との協働事業であり、葉山らしい方式を見出したい

生ごみ資源化事業

問 収集の実証実験を、真名瀬町内会の35世帯だけで行うことになったのはなぜか。

環境部長 町内会で募集した結果、手を挙げたのが35世帯だった。

問 生ごみの収集回数を週1回から週2回にした場合の、収集車・職員・経費の増について試算していると思うがどうか。

環境部長 金額は出ていない。さまざまなパターンを想定して、算定しているところだ。

問 経費が絡む収集回数は事業計画の柱のひとつだ。進め方に甘さを感じられるが。

町長 ごみ収集は町民との協働事業だと考えている。葉山らしい方式の実現に向けて、結論を導き出していきたい。

ヤングケアラー

問 町内のヤングケアラーの状況をどう把握しているか。

福祉部長 把握しているが、個人が特定される可能性があり、回答は控えさせていただきます。

問 周知が大事だが、どうしているか。

福祉部長 ポスターやリーフレットなど、多角的に認知度の向上を図っていききたい。

町内事業活動の活性化支援

問 町が音頭を取って、商工会・地元金融機関・地域団体の代表などが一堂に会して、意見や情報交換ができる組織を立ち上げないか。

町長 どんな議論になるか、面白いかも知れない。方針に町民との対話を掲げているところであり、その一つとして提案してみたい。

葉山の新しい農業のかたち

問 食糧不足が心配。葉山の農地の特性に合った町民参加の農業のかたちを考えてはどうか。

都市経済部長 相談にのり、仲介したい。



多様なニーズに応えられる町民農園に

笠原俊一



電力不足等の情報収集に
対応変化はあるか

政策財政部長

各所管で情報収集を継続する

電力不足等の情報収集

問 施政方針でコロナに対しては積極的に情報収集に努めるとしているが、昨今の世界情勢からの情報収集も必要ではないか。

町長 施政方針ではロシアの軍事侵攻等念頭に置いていない。財政的な不安や感染症に関する医療情報を中心に考えていた。大変高度な政治的課題であり、率直的な動きはできないが、10月予定のビッグレスキューを安全確保の参考にした。

問 物価上昇傾向の情報はどうか。

町長 物価高騰、電力の高騰等、町役場の運営にも厳しい状況にある。

問 電力不足の情報や猛暑予測から節電方針が予想されるが、2友好都市も増え相談できる仲間も増えた。情報収集の重要性から各課

での対応変化はあるのか。

政策財政部長 各専門の所管で正しい情報収集は継続する。補助金や交付金の関係は一括して財政課で、部署間に渡るものは政策課でも情報収集は行う。

問 県事業の中央道延伸や料金所の無料化など具体的情報を伺う。

町長 南郷トンネルの北側区間について、令和3年の地盤、地質調査等の結果を見て設計等の計画を行う方針と聞いたが、日程は明示されていない。無料化については簡易ETC化の話もあり方針は未確定である。

問 学校給食センター計画の状況は。

教育部長 財政状況等を踏まえ事業停止した。暫定案として令和5年4月から令和10年3月までの5年間、親子方式で上山口小学校から配送の準備を進めている。令和10年以降の具体的方針は今後検討していく。

その他の質問 まちづくり関連の状況



高齢者に喜ばれているバス停のベンチ

窪田美樹



環境に配慮した取り組みへの、町の本気度は

町長 全庁で取り組む雰囲気作りが大事だ

問 クリーンプログラム・気候非常事態宣言・エシカルアクションと、各課で環境に配慮した取り組みが始まっているが、町の本気度は。町長 全庁で取り組む雰囲気作りが大事だ。問 亀岡市の「プラごみゼロ宣言」はレジ袋禁止等、積極的に取り組んでいる。町も店舗でリユース食器利用等、積極的な取り組みを。環境部長 今後PRできる仕組みを作りたい。問 給食の牛乳ストローを使わない取り組みが一色小でも行なわれたと聞くが、展開は。教育部長 ストローのない牛乳等の提供を県給食会へ要望しているが、進まない状況だ。問 庁舎内のペットボトル販売を禁止しても、町内全体では処理量は増えているが対応は。環境部長 葉山のペットボトルは質もよくボ

飯山直樹



「環境の町葉山」をどのように世界に認めさせるのか

町長 まずは雰囲気作りから

問 エシカルアクションを通して「環境の町葉山」を世界に発信することを目標にする。ある。挑戦的で熱意を感じる素晴らしいプロジェクトだ。国際機関の認定を得るためには登録者数では評価として不足する。環境目標の数値化が不可欠だが。町長 当町独自の環境対策の第3弾。今回はSDGs 17項目中12項目の「つくる責任・つかう責任」への対応として、人・社会・地域に配慮した倫理的行動を求めもの。当活動は雰囲気作りで、それにより深く浸透し、評価を得たうえで、強制力を持った数値目標などに県や国が発動できるよう働きかけたい。問 当町最大のエネルギー消費施設である役場が模範を示すことは当然として、町民への

近藤昇一



自衛隊の求めに応じて住民基本台帳の写しを渡しているのは違法では

福祉部長 国の通知に従った

問 ここ数年の間、自衛隊の求めに応じて全国の市区町村で18歳及び22歳の住民の情報をコピーして渡している例が増えて、これを疑問視して見直しを求める住民の運動もあり、また住民訴訟も提起されている。葉山町では、2021年は名簿のコピーを提出しているが、法的根拠を伺う。福祉部長 自衛隊員の募集に関し、市区町村が住民基本台帳の一部の写しを提出することは可能であるとする閣議決定と通知があった。問 閣議決定はあくまでも閣僚の合意であって、政府の統一見解にすぎない。これに法的な拘束力あるのか。福祉部長 法的なものはない。政府の統一見解だ。

トロボトルができていると考える。

災害時の避難のあり方は

問 土砂災害ハザードマップにマイタイムラインを記入でき、活用に向けた周知や地域の危険箇所が分かるサイズの地図が必要では。総務部長 マイタイムラインの作成や認識が重要で、町内会の避難訓練等の場で強く説明している状況だ。独自の詳細マップを持っている自治会もあり、同様な働きかけをしたい。問 福祉避難所ガイドラインが改訂され、高齢者や障がい者が直接、福祉施設に避難できるようにになったが、町内福祉施設との連携は。総務部長 福祉施設と協定は結んでおり、直接避難に関して今後協議していく必要がある。問 子どもの頃から身につけた「津波でんでんこ」が多くの命を救ってきたと聞く。各学校、地域に合わせた避難訓練や防災教育は。教育長 通常の授業の中でも防災教育をしていくべきと思っており、展開していきたい。



環境に配慮したさまざまな取り組みを

浸透方法は。

政策財政部長 町内のあらゆる媒体やシンポジウムの開催などを通じて浸透を図る。

問 面による情報伝達・収集等から、人のつながりが強い各種コミュニティを拠点とした点でのアプローチを取り入れるべきでは。政策財政部長 行動単位が自治会・町内会から多様化するコミュニティに変化した中で、実際の課題としてとらえている。問 アートの町として有形・無形のアート財産を蓄積・展示できる拠点設置の考えは。町長 当町におけるアート活動の価値は大きい。できる限り民間に活躍してほしい。問 ドッグランの補修予定と利用者への補修の手伝い呼び掛けはどうか。教育部長 荒れている状況は承知している。その都度、職員で対応を予定している。



「環境の町葉山」を目指すエシカルアクション



町民健康課窓口

問 通知に拘束力はあるのか。福祉部長 地方分権法で、通知に拘束力はない。問 住民基本台帳法では閲覧は認められているが、写しが可能とは書いていない。以前議会で議論した際、町長も「法整備が必要」として閲覧に変更している。今回、議会に報告もないうままにコピーを提出している。さらに町長は「個人情報保護審査会にかけて検討する」と言っておきながら、諮問していない。二重三重にも議会軽視ではないか。町長 自身の配慮が足りなかった。問 町長以下、上申した職員も含めて処分が必要だと思うが。町長 大変申し訳なかったと謝罪している。個人情報保護審査会に改めて諮問したい。問 個人情報保護の観点から、名簿提出を拒否する権利を保障すべきでは。町長 可能かどうか研究課題としたい。

山田由美

南郷上ノ山公園で
宿泊キャンプの許可を



教育部長

検討しよう

公園活性化

問 利用者を増やすためと、町民の防災能力を高めるため、南郷上ノ山公園での宿泊キャンプを許可してはどうか。

教育部長 幅広く検討していく。

問 公園内の自動販売機は災害対応型か。

総務部長 今は違うが、前向きに検討する。

問 調整池を整備してウッドチップを敷き、第2のドッグランにしてはどうか。

教育部長 検討していく。

まぜじりり条例

問 盛土についての規制がないと、開発業者と住民の話し合いに困難が生じる。熱海の事件を受けて、町民の目も厳しくなっている。審議会等で話し合っているかどうか。

都市経済部長 各地域のまちづくり推進協議会で設定していくことを望む。

部活の外部委託

問 先生方の負担軽減や専門的指導の点から、部活動の外部化が進められているが、国や県から補助がない場合、外部の指導者に払う謝礼はどうするのか。

教育部長 受益者負担が原則だが、今後の検討課題の一つだ。

小中一貫校

問 中1ギャップの解消や校則統一、教科担任制など、小中一貫校にはいろいろな要素があるが、葉山で目指す理想の形とは。

教育部長 9年間を見通した系統的・横断的なカリキュラムだ。

学校給食センター用地

問 学校給食センター事業は延期でも、用地だけは町に無償提供してもらいたい。

教育部長 その準備を進めている。



日曜日の南郷上ノ山公園

土佐洋子

中学校給食の進捗は



教育長

準備を進めている

問 中学校給食への期待は大きく、おいしく安全で栄養のある完全給食を目指し、積極的な対応を重ねて町に求めてきたが、進捗は。

教育長 令和5年4月より中学校への完全給食を提供すべく、現在準備を進めている。

問 給食の開始について、児童・生徒及び保護者の皆さまへの案内はまだなのか。

教育部長 状況が整いつつあるので、順次保護者等に向けて周知をしていく。

問 上小小学校の近隣の皆さまに丁寧な説明をしているのか。

教育部長 コロナの状況で、なかなか説明会を開催することができなかったが、ようやく6月5日に町内会で説明会を開催した。

問 子ども達の安全の確保の対応は。

教育部長 配送の車の速度や保安要員の配置、ドライブレコーダーの設置を検討している。防犯カメラも活用し、安全に配慮したい。

問 千食分に見合った適切な排水処理など、環境への配慮は。

教育部長 調査し、きちんとした対応をする。

問 生ごみ処理はどのように行うのか。

教育部長 自家処理について検討したい。

問 物価高騰による給食費の負担軽減は。教育長 秋以降に検討せざるを得ないかもしれないが、町長と話を始めている。

クリーンセンター再整備事業

問 再整備工事の今後のスケジュールは。

環境部長 8月中には退出路の拡幅の工事が完了する予定。スロープを山側に移動させて、現在のごみのピットの付近を3メートル程度切土する予定で、し尿処理施設の跡地は盛土による宅盤の造成を計画している。

その他の質問 ふるさと納税・同行援護



子ども達の安全確保と環境への配慮を

鈴木道子

一色第一町内会
防災倉庫への通路補修を



都市経済部長

早急に対応する

問 一色第一町内会防災倉庫に関して何う。日影一色丘公園に設置の防災倉庫は、倉庫への通路が危険な状況で、補修の要望書が令和元年に、町内会長から町長に対し提出された。令和2年に回答があり、令和3年度予算に計上してある旨の記載があるが、未だに対処されていない。早急に対処すべきだ。どうか。

都市経済部長 町内65カ所の公園のあり方について、検討中だ。この公園は、人目につかない立地でもあるため、閉鎖も視野に検討中だが、現場の状況については、早急に対応する。

問 この場所は、山も迫っており、災害時の対応として懸念がある。移設についても、協力をすべきだが、どうか。

総務部長 防災倉庫については、自主防災組

織の方で用地確保をし、設置する原則だが、敷地に課題もあることから、協力をして良い解決をしていきたい。

問 保育園で、保護者に使用済みオムツの持ち帰りをしてもらっているが、保護者の負担軽減のため保育園で処分すべきだが、どうか。

町長 慎重に判断し、検討していく。

問 「栄養士」と「管理栄養士」の仕分けをした資格条項を作るべきだが、どうか。

総務部長 名札名称と職務設置規則につき、他自治体例も研究し検討する。

問 長柄南郷方面通学路、通称「シンデレラ階段」には「落石注意」の看板掲示もあり、通行の危険性がある。対処すべきだが、どうか。

都市経済部長 定例巡回で注視しているが、関係者に新たにできた崖地防災対策工事補助金制度の案内などをし、対応を依頼する。

その他の質問 自衛官募集事務状況・生理の貧困・ポストと横断歩道・高齢者散歩の対応



早急に通路の補修を

石岡実成



長柄ゲートボール場を公園にしては

政策財政部長

話合いの場を持つことは、やぶさかではない

今後の教育現場の方向性

問 教育現場で使用しているプラスチック素材の見直し、あるいはリユース等に関して見直しを加速させる必要があるのでは。

教育部長 まだ、十分でないところもあるので、今後は環境に配慮した教材を使用していく。今後校長会議等でも十分周知していく。

問 図工で使用する木材等は、せめて外国産の物ではなくし、授業の目的にもよるが、普通の角材が良いのであれば、地元で調達するようなことも検討して良いのでは。

教育部長 指摘の通り「購入しなければいけないものなのか」からスタートさせ、環境配慮の根底にある考え方を理解させながら、人的資源も含めて活用していきたい。

問 文部科学省からは、学校の体育や登下校の際はマスクを外すようにとの通知が出たが、教育委員会として統一見解を示すべきでは。

教育部長 国や県の指示を受けながら、町としてより適切な形で統一見解を示していく。

長柄ゲートボール場の有効利用

問 長柄ゲートボール場を、町民との協働で公園にしたいと思うが、その可能性は。

政策財政部長 有効な活用ができるような話し合いの場を設けることは、やぶさかではない。

下水道コンセッション方式の導入

問 導入に向けては、メリット・デメリットをしっかりと検証し、住民説明会等の開催も含め、慎重かつ丁寧に進めてほしい。

環境部長 簡単に進むという認識はなく、町民の方には説明会を開いて周知していく。

その他の質問 学校給食のオーガニック食材の導入・一時帰国児童生徒の就学制度の見直し・長柄地下道の整備



町に提案した「長柄ゲートボール場有効利用案」

議員懇談会 町長の招集による

2019年9月に宣言した「はやまクリーンプログラム」の目的であるSDGsの目標達成のために、葉山町と町民や事業者が連携・協働して推進するものです。環境に配慮した葉山町独自の行動項目の第3弾として、2022年6月1日から開始した取り組みです。

今回の事業のターゲットは、SDGsの目標12「つくる責任・つかう責任」で、事業者千団体と町民3万3千人の賛同を得て、「地球の将来のために」全員が本気で行動している町」を、世界に向けて発信することを目指しています。

議員からは「お知らせを分かりやすくして、3万3千人の賛同を得る工夫を」「本事業を通じて、町が目指す最終的な目標を数値化すべき」「環境問題で費用対効果を語るべきではない」「環境課や産業振興課等連携を深め、町民や企業に周知すべき」との意見がありました。



Eシカルアクションロゴ

実施計画案が示されて説明を受けました。10月16日9時から葉山新港・葉山小学校で、9時30分から南郷上ノ山公園で開催予定です。今後、詳細を固めていき多くの団体に参加を呼び掛けるそうです。なお、南郷上ノ山公園の使用制限期間は、10月6日から23日までの予定です。

議長 待寺真司

議員研修会 議会主催

アンコンシヤス・バイアスについて

神奈川人権センター理事長であり、東京都立大学名誉教授の江原由美子先生をお招きし、開催しました。

アンコンシヤス・バイアスとは、無意識の偏見のことで、自分では気づかないままに行っている他者や物事に対する偏った見方や考えのことです。現在、企業を含むさまざまな組織で、アンコンシヤス・バイアスを意識化する研修などが盛んに行われています。現代社会においては、人権意識が高くなることにより「あからさまな差別」に対しては「やってはいけないことだ」という認識が確立しつつあります。しかし、実際にはなかなか差別がなくならない状況があると推測されます。

偏見や差別のない社会に向けて、誰もが偏見や差別を行いがちであることに認識し、批判をされたときに、反発するのではなく聞くことが大切であり、自分のアンコンシヤス・バイアスに気づいたら、率直に認め謝罪をすること学びました。



江原由美子講師

副議長 土佐洋子

友好都市について

栃木県那須町および静岡県下田市とは、かねてより御用邸を有する都市として友好を深めてきました。両市町と正式に友好都市協定を締結したため、議会においてもお互いの親交を深め、今後活発な情報交換が行われるよう、お互いの市町への視察を行うなどの活動を開始しました。

栃木県那須町

栃木県北東部に位置する、人口2万4千人ほどの町です。中心地の標高が800メートルほどで、8月の平均気温が21度であるため、避暑の別荘地として栄えてきました。ロープウェイで山頂付近まで登れる茶臼岳は屈指の観光スポットとして知られています。



茶臼岳の紅葉

静岡県下田市

海を挟んで正面に広がる伊豆半島南部に位置し、人口2万人ほどの観光地です。美しい砂浜の白浜海岸をはじめ、多くの砂浜や入り組んだ47キロにもおよぶ美しい景観の海岸線と、いで湯で有名です。



美しい白浜海岸

町長行政報告

国際姉妹都市協定の見直し

オーストラリアのホールドファーストベイ市とは1997年12月15日に国際姉妹都市協定を締結して以来、交流を進めて参りましたが、近年は社会経済情勢や国際情勢などを背景に、交流は大変限られたものとなっております。



締結当時のホールドファーストベイ市

こうした中、ホールドファーストベイ市長より5月13日付で、双方ともに何らかの得策を見出すことができない状況を踏まえ、協定を終了することを決定した旨の書簡が届きました。今後は、協定の解消に向けた手続きについて準備を進めて参ります。

新型コロナウイルス発生状況

5月30日現在、町内の累計感染者数は2040人。湘南国際村センターの軽症感染者等の受入者数は14人。

ワクチン接種の状況

5月30日現在、3回目の接種が対象者の64.66%にあたる1万9239人が完了。4回目接種は6月中旬より町内医療機関で、7月中旬より福祉文化会館で接種を開始する予定です。

表紙説明

6月5日に長者ヶ崎・大浜海岸にて、スポGOMIオーシャンが実行委員会により開催されました。海岸と海上のごみをチームで集める競技として、世界初のマリンスポーツと環境活動を融合させ「ごみ拾いはスポーツだ！」という言葉で国内外で定着させています。



スポGOMIオーシャン参加者



海上でのごみ拾いの様子

を中心に組まれた9チーム89人と、世界ランキング上位の選手等6人のプロウインドサーファーと山梨町長が海上担当として参加しました。

今後も自分達の住む町の海岸を、自分達の手で守る環境保全活動のお手本になればと思います。

永年勤続表彰

窪田美樹議員が、町村議会議員として連続11年以上在籍したことにより、令和4年5月27日に神奈川県町村議会議長会から「永年勤続表彰」を受けました。



次回定例会は...

9/6-10/12 の予定です。

議案審議	総括質問	一般質問	各常任委員会
9/6 (火)	9/12 (月)	10/6 (木)	9/27 (火)
10/11 (火)	9/13 (火)	10/7 (金)	9/28 (水)
		10/11 (火)	9/29 (木)
議会運営委員会	決算特別委員会		
9/30 (金)	9/14 (水)	9/16 (金)	9/21 (水)
	9/15 (木)	9/20 (火)	9/26 (月)

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



※新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場及び委員会室での傍聴を調整・制限させていただいております。ご理解ご協力をお願いします。

議会本会議のライブ中継は、スマートフォン、タブレットでも視聴できます。



▶▶▶
視聴はこちら



議会ホームページのトップに Google カレンダーが入りました。



録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

編集後記

新型コロナウイルスにウクライナでの戦争、物価上昇、経済格差の進行、地震、電力不足等いろいろな困難が降りかかる日々ですが、自分としては、毎日、できることを積み重ねていくしかないと思っています。

仕事帰りにスーパーに寄る時は、缶詰やジャム、クッキーやナッツなど保存のきく食品を、少しずつ余計に買い、備蓄するようにしています。スマホが充電できる小型ソーラーパネルも備えました。

その一方、議会では数年ぶりに視察が再開でき、那須町、下田市の友好都市との交流も予定されています。草津町の皆さまも、水泳教室にいらっしやる予定です。先で何が起きるか見通せないとしても、この日々を大事にしたいと思います。

6月22日 山田由美 記

議長 待寺 真司
議会広報常任委員会
飯山 直樹 鈴木 道子
山田 由美 金崎 ひさ
荒井 直彦 土佐 洋子
窪田 美樹

●議会だより148号 2 ページを次のように訂正いたします。「活力を想像する」内、「街路整備」の写真のキャプション、【誤】 向原森戸線整備箇所 【正】 五ツ合森戸線整備箇所 皆さまには、大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。